

もくじ

石田新市政がスタート	2
木内前市長退任	3
平成17年度決算	4
平成17年度上水道決算	5
保育園入園のご案内	6
高齢者インフルエンザのご案内	7
耐震診断を実施しています	8
(新コーナー) 今月のジョー	9
飯山市議会選挙のお知らせ	10
	11
	12
	13
	14
	15
	16
	17



「足で稼いで心でつなぐ」

石田新市政がスタート!

先に行われた飯山市長選挙において無投票で第7代飯山市長に就任した石田正人新市長が、9月15日初登壇しました。



この日市役所近くには、市民や市職員など約300名が集まり、石田市長は市役所近くで車を降り歩いて登壇、大きな拍手で迎えられました。

石田市長は玄関ドア前で立ち止まり深々と一礼をし、



△就任式では石田市長に対し、職員から職務を誠実・公正に執行するとの宣誓が行われた

く。お互いに愛を持ちながら取り組み、皆の心を一つにして市民総参加の市政を作り上げて参りたい」と述べました。



△9月28日に招集された市議会9月定例会では、所信を述べた

飯山市長就任ごあいさつ



いしだ まさと
飯山市長 石田 正人
昭和8年3月21日生

先の市長選挙において無投票による市長就任となりました。

昭和29年飯山市発足以来新人の無投票、これは市民の皆さんが十分ご承知を頂いておりますように、現状は極めて厳しいものと認識しその責任の重大さを深く感じているところです。

慢性的に抱える高齢化、少子化の問題、各種産業の停滞、これに伴う税収の減少とともに、三位一体改革での交付税改革で市財政の逼迫と、山積する諸課題に取り組むにあたり、市民の皆様と協働により、共に汗し労を分かち実を喜びあえる市民総参加の市政実現を目指し、漂う閉塞感に風穴

を開けてゆけば希望の道が開かれると信じております。

今まで市政を担われた木内前市長様のご功績につきましては、市民の皆さんが既にご承知のとおりであります。豊富な行政経験から提唱実施されました。飯山市発展のために一生懸命尽くされました。ご努力に対し心から敬意と感謝を申し上げ、その志をつなぎさらに発展させてゆく所存であります。

この度、飯山市長という重責を背に多くの先人が築いた悠久のふるさと飯山市を次の世代に伝える役割を一身をかけて果たす覚悟であります。

つきまして将来の飯山市づくりの岐路に立つ現在、市民総参加の市政展開に際して自らに律するものは、常に市民の側にたった平行な視線と広い視野、明確な視点をしっかりと守りとおしてまいります。

ケニア環境副大臣のワンガリ・マタイ氏が日本の美徳として示した「もつたいない」の精神は、市政運営における極めて重要な視点と考えております。

昭和の一ケタに生まれ、戦前戦中戦後と物のない時代に育つ私は、この「もつたいない」の精神を市民の皆様と共有し議論を深め、民主的手段を持ち事を進めてまいります。

この「もつたいない」とはケチケチするという要素ではなく「ありがたう」という心、「畏れ多い」という謙虚な心、「人や物を大切にしよう」という優しい心に基づく感謝と敬愛の精神と思っております。

市制施行以来、減少の途をたどる人口に歯止めをかけ、上昇に転ずる大きな夢をのせた新幹線が八年後に開通いたします。市民と一致協力した誘致運動の成果は最高の元気の泉となりました。

市民の皆さんの英知を結集し、新幹線新駅およびまちづくりの付加価値をつけてゆきたいと考えております。

また産業振興、雇用の場の確保は長期的視点に立った戦略が必要であり、緊急に対処すべき大きな課題です。若年層の人口流出、中心市街地の空洞化、工場団

地の空地の活用策、スキー産業の再生、地場産業の振興、農業の担い手不足、遊休農地対策にしっかりと私の行動である「足で稼いで心でつなぐ」を実践し、市民の皆さんのご協力を頂き積極的に行動してまいります。

直面するクリーンセンター及び総合福祉センターの建設についても見直しのできるものについて検討し、市民の皆さんの協力を頂き進めてまいります。安心できる住環境整備、岳北広域の一体化、少子高齢化対策、男女共同参画、子育て支援、福祉施策、学校保育園再編と、課題・問題だらけです。市長就任にあつても立派な公約を打ち出すことは出来ません。

ひとつひとつ地に足を付けて課題の解決に向けて努力してゆくことが私の公約です。市民の皆さんのご指導とご支援ご協力を切にお願いして就任あいさついたします。